

日産自動車会長のカルロス・ゴーン氏が金融商品取引法違反の容疑で逮捕—3社のアライアンス、シナジー効果などへの影響を注視

以下は、11月19日にルノー（Renault）、日産自動車株式会社（証券コード：7201）、三菱自動車工業株式会社（証券コード：7211）の会長を兼務するカルロス・ゴーン氏が金融商品取引法違反（有価証券報告書の虚偽記載）の容疑で逮捕されたことに対する株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 日産自動車はゴーン氏の不正行為として、実際の報酬よりも少ない額を有価証券報告書に記載したことに加え、日産自動車の資金を私的に支出するなどの複数の重大な不正行為が認められるとしている。このため、ゴーン氏の会長及び代表取締役の職を速やかに解くことを取締役会に提案するとしている。
- (2) 近年の3社の業績はアライアンスのシナジー効果によるコスト削減や投資効率化が下支えしてきた部分が大きい。日産自動車は3社のパートナー関係に影響が出ないように努力する方針としているが、3社連合はゴーン氏の求心力に依存する部分もあったとみられる。また日産自動車は早急にガバナンス、企業統治上の問題点の洗い出し、対策を進めて行くとしている。JCRでは日産自動車のガバナンスの改善に向けた取り組みと、3社のアライアンス、経営体制、シナジー効果への影響などについてフォローし、必要に応じ格付に反映させていく。

(担当) 窪田 幹也・上村 暁生

(担当) 内藤 寿彦・幾島 真

(担当) 大山 肇・前田 瞳

【参考】

発行体：日産自動車株式会社

長期発行体格付：AA- 見通し：安定的

発行体：ルノー（Renault）

外貨建長期発行体格付：A- 見通し：ポジティブ

発行体：株式会社日産フィナンシャルサービス

長期発行体格付：AA- 見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であっても、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会が定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル